

カモフラージュ～かくれているものを見つけよう～

■プログラムの概要

ねらい	動物の擬態や保護色を知り、生き物が外敵から身を守ったり、えさを取ったりするための工夫に気づく。		
キーワード	いきもの		
対象	幼児～小学4年		
時間	45分	実施場所	校庭など
使用するもの	<ul style="list-style-type: none">・カモフラージュで隠す人工物（様々な質感、色合いのものを用意） 例 ぬいぐるみ・鉛筆・木の洗濯バサミ・麻ひも・人形・木製の道具・セルロイドのおもちゃなど、人工的なもの。20点程。・ロープ（10メートル程度・1本）・擬態の本		
全体の流れ	<p>事前準備 隠す場所に沿ってロープを置き、探す範囲を定める。 範囲内に人工物を隠し、個数と場所を把握しておく。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 導入2. カモフラージュ 自然の中に隠された人工物を探す活動を行う。最大で1人2回行う。3. 答え合わせ みんなで、隠されていたものを確認する。4. 動物の擬態について 擬態の姿を本を用いて説明する。（本を見せながら読むなど）		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<p><導入></p> <p>自己紹介・授業の流れの説明など</p>	
20分	<p><カモフラージュ></p> <ul style="list-style-type: none"> 校庭の決められた場所で、自然の中に隠された人工物を探し、見つけた数を指導者に伝える。 正解を出せない時に、2回目の観察を行う。正解が出なくても2回で終了 	<ul style="list-style-type: none"> 1人ずつ順番に探しに行くこと、触ったり声に出したりすることなく数えることなどを指示する。 指導者は人工物を隠した個数・場所を把握しておく。 生き物の工夫に目を向けつつ、自然の中の色に興味を向けさせる。
10分	<p><答え合わせ></p> <ul style="list-style-type: none"> いっしょにロープに沿って、場所と人工物を確認しながら答え合わせを行う。 答え合わせの後、どのような色・質感のものが見つかりにくいかを考える。 感想発表（数人程度） 	
10分	<p><擬態について></p> <ul style="list-style-type: none"> 擬態の姿を本を見せながら説明する。 カモフラージュ全体について、感想を出し合う。 	写真集か、写真入り解説本など

■使用するもの

物品名	数量	備考
カモフラージュ用の人工物	20個程度	ぬいぐるみ・おもちゃ・木製のおもちゃ・木製の洗濯バサミ・あさひも・鉛筆など
ロープ	10メートル程度	できれば植物性のもの。なければ、ナイロン系のもの。
擬態の解説本		例 「カモフラージュの本」岳陽舎 1200円 もう少し大判の本がなおよい。
校庭や公園の中の、低木の木が込み合っている場所（やぶなど）の選定	1か所	10メートル程度続く場所

■実施にあたって留意する点

- 授業開始の前に、カモフラージュの具体物を隠しておく。どこに隠したか記録する。指導者も事前にやってみる。
- 周辺に落ちているごみ（ビニール袋やペットボトルなど）を取り除く。